

2015年12月15日



十和田八甲田地区  
パークボランティア連絡会  
第103号 会報

事務局（発行者） 舘 章二郎  
E-mail jrou\_tate@yahoo.co.jp  
pkctw409@yahoo.co.jp

「十和田八甲田地区PV連絡会20周年式辞」

福村 誠（11月7日挨拶）

平成7年の会発足から数えると、昨年度20周年を迎え、ここに本日、式の運びとなりましたことを報告いたします。

本来であれば、県及び市など、関係する多くの方々の招待を予定していたのですが、私たち個々のボランティア活動をお祝いする主旨を踏まえ、環境省をはじめ会員の皆様の協力をいただき、本日20周年を祝う会を、内輪ではありますが開催するにいたしました。

私たちが今日まで一生懸命協力している、パークボランティア活動は、ボランティアという性格上継続していくことが難しい中、5年、10年、そして今日20年を迎えたという事は素晴らしい誇れるものと思えます。そして活動20年の蓄積を活かし、これまで以上の貢献をしていかなければと思っております。また、自然公園におけるボランティア活動の先達としても、私たちの活躍が求められるのではないのでしょうか。

近年、自然の大切さが注目を浴び、いかに人間の文化活動に大切であるかが理解されつつあります。私たちも自然保護及び自然解説の指導員役として益々の協力を誓い、会発足20周年のお祝いの言葉といたします。

「20周年記念事業を終えて」

11月7日（土）酸ヶ湯温泉において開催のPV連絡会発足20周年を祝う会に際しまして、皆さまから多くのご支援をいただき、ありがとうございました。

八甲田山も初冠雪を観測した中、道路状況が心配されましたが、環境省をはじめ、34名の方々に出席いただき、改めて感謝いたします。

今回20周年を記念して、東北巨木調査研究会の副会長及び事務局長を担当し、当PV連絡会に所属する山本光一氏から、青森・岩手・秋田「神秘の巨木」をテーマに講演していただきました。山本氏から紹介された貴重な巨木の数々に、出席の皆さんも楽しんでいただけたことと思います。また、活動の思い出として、前会長の大塚様から会発足当時の苦労話などをいただきました。この後、活動20年の歩み、今後のPV活動に向けてのディスカッションなど、限られた時間で急ぎ足の進行となりましたが、ほぼ予定の時間で終了しております。

夜からの懇親会には23名が出席し、余興を交えて美味しいお酒に話もはずみ、時間延長で閉会となりました。

20周年記念パンダナの配布について

今回20周年を記念してパンダナを作成しました。活用して下さい。（前会長の大塚氏が描いた毛無岱の水彩画を基にデザインしました）



10・11月の活動報告

「鶯野鳥の森遊歩道整備作業に参加して」

吉崎 明子

10月1日(木)晴天。紅葉準備中の鶯野の森において、環境省3名、PV16名の参加で作業が実施されました。

環境省松山さんの挨拶があり、大野さんから作業内容の説明、畑中さんからは活動中における「きのこ採り厳禁」の秋ならではの注意の後、鶯野・野鳥・ひょうたん沼コースを3班に分かれ、側溝堆積物の除去・補修・笹の刈り払いの他、今回はもう一つ「案内板」の清掃が加わり、私はひょうたん沼から菅沼あずま屋に降りて清掃しました。「案内板」は年数が経ち、風化が進んで剥がれ落ちたり樹液などがこびりつき、汚れが落ちにくいものなど様々ありました。プラスチックの小さなバケツと雑巾しか持たなかった私は、途中でササを除去したくても出来ず、鋏を携帯しなかった事を反省しました。これまで継続の活動で月沼のササの煩わしさも軽減され、風景を楽しむことが出来て良かったと思います。もう一つ良かった事は、途中で落ちていた一個のサルナシに舌鼓、秋を満喫したひと時でした。参加した皆さんお疲れ様でした。



.....

「薬師沢及び田代平湿原ロープ撤去作業」

「薬師沢作業」

市川 清一

10月18日、紅葉の見頃が過ぎた酸ヶ湯IC前に環境省1名とPV7名が集まる。

PVの東島さんは毛無岱の木道の滑り止め補修整備に向かい、他の7名が登山日和の中を薬師沢目指して出発する。

9時40分仙人岱清水へ到着。湧水でのどを潤した後ロープの取外し、鉄ピン抜き、それを整理して仙人岱避難小屋へ収納、10時半に作業を終了する。作業中登山者から御苦労さま、お疲れさまと声を掛けられ気分良く作業が出来ました。

作業後は全員で大岳山頂へ、山頂で毛無岱から登ってきた東島さんと合流し、全員で記念撮影。東島さんは仙人岱側へ下山、薬師沢側作業の7名は大岳避難小屋へ下山。

避難小屋前で昼食後、酸ヶ湯IC目指して下山する。秋晴れの快適な八甲田山を満喫した1日でした。

「田代平湿原作業」

西館 留利子

秋晴れ、晴天の中、環境省から松山氏、PV11名参加で田代平湿原側のロープ片付けを実施しました。



リーダー猪狩さんの先導のもと、皆さん毎年のことなので手慣れていて、超々スムーズに終わることができました。ついでに自然公園指導員の会で張ったヤナギランのロープ撤去も行いました。

参加した皆さん、好天なのに今回の作業を優先してありがとうございました。そしてお疲れさまでした。帰り、萱野高原でおでんを買う人の行列がすごかったです。

「奥入瀬溪流クリーンハイキング」

前田 愛子

11月14日(土)、財団主催で一般参加者及びPVから7名の総勢24名が参加し、シーズンオフで子ノ口水門が閉じられ水量が少なくなった奥入瀬溪流で、クリーンハイキングが行われた。

今にも降り出しそうな天気の中、一般参加者は石ヶ戸から上流へ、PVは子ノ口から雲井の流れまでを散策しながらゴミ拾いをした。木々の葉はすっかり落ちて岩肌や滝はきれいに見えたが落葉の下にはまだゴミが隠れていると思われた。この日拾ったゴミの量は約30キロ位。9時〜11時過ぎまで雨に降られずに終わりました。

参加した皆様お疲れさまでした。





【事務局から】

今年のPV活動は11月14日(土)の奥入瀬クリーンハイキングで終了しました。

これまで活動に参加されました会員の皆様には本当にご苦勞様でした。来春3月の研修会まで休養をお願いします。

過年度発行の会報をめぐっていましたら、井戸岳植生復元活動への参加が平成17年から始まったとありました。現在の現場の植生回復状況を見ると、つくづく活動の難しさが感ぜられます。尾瀬の至仏山で大規模な植生回復事業が行われた事をご存知の方が多いと思います。事業のため9年間閉鎖されていた登山道が再開された後の初夏に訪れる機会がありまして、回復状況を散見しましたが、素人目からも失望した記憶があります。この事から、植生回復が如何に困難な事業であるかが伺えます。十和田湖に外来藻が繁殖しているとの新聞報道がありました。オオハンゴンソウのみならず、駆除が必要な植物が温暖化により私達の活動範囲に侵入してくる懸念があります。

今後、ますますPV活動の重要性が増すと思えます。お身体に十分留意されまして良いお年をお迎え下さいますよう祈念申し上げます。(館)

ネームプレート張り替えシールの配布について

会報にネームプレート用のシールが同封されている方は張り替え願います。現在のシールの上に食器用洗剤を水で薄めて塗り、その上から配布シールの裏紙を剥がして張りつけて下さい。(注意:シールの四隅を合わせる)



活動参加者一覧

6月20日 井戸岳植生復元	東島、平川、三浦、山本正、猪狩、市川、今井 日下、下村、宗前、高田、高橋、館(13名)
7月5日 南合同パトロール	東島、高田(2名)
7月8日 秋田・十和田湖クリーン	館、和田、赤坂、下山、前田、吉崎(6名)
7月17日 オオハンゴンソウ	館、畑、東島、山田賢、吉崎(5名)
8月8日 井戸岳植生復元	市川、館、田村、畑、小笠原(5名)
8月29日 東北地区合同研修・交流会	宗前、高田、田村、館、東島、福村、若杉 小笠原、前田、吉崎(10名)
10月1日 鳶遊歩道整備	高橋、館、鳥谷部、夏堀、東島、三浦、山本光、山本正、和田 田村、小堀、山田賢、畑、針生、高橋、前田、吉崎(17名)
10月18日 ロープ撤去作業	薬師沢:市川、東島、平川、三浦、山田賢、田村、小堀(7名) 田代:木村、津川、法量、畑、高橋、和田、猪狩、高田、赤坂、下山、西館(11名)
11月7日 秋季研修・20周年祝賀	猪狩、市川、日下、工藤、宗前、高橋、高田、館、田村、對馬、鳥谷部 夏堀、畑、針生、東島、福村、法量、三浦、山田賢、山本光、山本正 若杉、和田、赤坂、小笠原、下山、西館、畠山、前田、吉崎(30名)
11月14日 奥入瀬クリーン	夏堀、田村、東島、山田巖 小笠原、前田、吉崎(7名)

## 十和田八甲田地区 P V 活動 20 年の歩み

- 平成 6 年 7/18 環境庁(省)からパークボランティア設置要項が発表される。
- 平成 7 年 5/13 八甲田地区 PV 認定者 30 名で活動が始まる(会長 平井憲治)。
- 平成 8 年 8/31・9/1 PV 合同研修・交流会を十和田地区田代少年の家で開催。
- 平成 9 年 会員数 79 名(認定者 46 名)を数える。
- 平成 10 年 組織名を十和田奥入瀬・南北八甲田地区協議会に変更する。
- 平成 11 年 認定証 10 名に追加交付。県地方職員組合自然観察会をサポート。
- 平成 12 年 5/14 蔦沼 VC 開館。8/26・27 PV 合同研修・交流会を八甲田山荘で開催。  
10/10 城ヶ倉渓流で落石死亡事故発生、散策道が通行止めとなる。
- 平成 13 年 大岳埋設ゴミクリーン作戦を 2 日間行う。(会長 太塚晃就任)  
小柳小学校蔦沼観察会に 10 名サポート。南八甲田登山道無断伐採発覚。
- 平成 14 年 会員数 61 名。7/24・25 全国自然公園大会(焼山湯ノ台高原)に 24 名が協力参加。
- 平成 15 年 酸ヶ湯 IC 開館。GW 睡蓮沼交通整理に派遣。十和田第一中の大岳登山をサポート。
- 平成 16 年 9/11・12 PV 合同研修・交流会を十和田湖生出キャンプ場で開催。  
組織名を協議会から八甲田地区 PV 連絡会に戻す。
- 平成 17 年 井戸岳植生復元事業始まる。環境省へアクティブレンジャーが配属される。
- 平成 18 年 PV 追加募集で会員数 70 名となる。
- 平成 19 年 南八甲田登山道ロープ張り作業に協力。酸ヶ湯クリーン作戦始まる。
- 平成 20 年 9/28 仙人岱清水(辰五郎清水)枯渇に伴う清掃作業に協力、新聞で紹介される。
- 平成 21 年 5/23 外来植物講習会に 20 名出席。11/7 反省会を酸ヶ湯温泉で開催。
- 平成 22 年 会員数 61 名(会長 福村誠就任)。8/28・29 PV 合同研修・交流会を開催(八甲田温泉)
- 平成 23 年 ゆ～さ浅虫にて「植物の不思議」研修会開催 34 名出席。
- 平成 24 年 十和田八甲田地区 PV へ名称が変わる。PV 追加募集で会員数 73 名となる。
- 平成 25 年 南八甲田・善光寺側の敷設ロープ撤去作業が完了。
- 平成 26 年 十和田 VC 開館。8/30・31 PV 合同研修・交流会を十和田湖休屋地区で開催。

### 【十和田八甲田地区パークボランティア活動宣言】

私たちは、十和田八甲田地区における自然公園のボランティアとして、自然保護及び健全な利用の普及推進活動に努め、この地域の美しい自然、大切な自然を永く次の世代に伝えていきます。